

# 化学物質安全データシート (MSDS)

会社 株式会社ニチレイバイオサイエンス  
 住所 東京都中央区築地 6-19-20  
 担当部署 品質保証部  
 電話番号 03-3248-2208  
 FAX 番号 03-3248-2243  
 緊急連絡先 同上  
 作成 2005年4月1日  
 第3改訂 2010年3月1日\*

MSDS No. 415041-(1), -(2)

製品名 内因性アビジン・ビオチンブロッキングキット

製品コード	製品名
415041	内因性アビジン・ビオチンブロッキングキット
— (1)	アビジン溶液 (試薬 A)
— (2)	ビオチン溶液 (試薬 B)

## 物質の特性

単一製品, 混合物の区別 : 蛋白質と塩類の混合物

化学名 -----  
 成分及び含有量 アジ化ナトリウムが 0.1%含まれている。  
 化学式/分子量  $\text{NaN}_3=65.01$   
 化審法公示番号 1-482  
 CAS No. 26628-22-8  
 国連分類 ----- 国連番号 1687  
 PRTR 法 1-11 (1%未満適用外)\* 労働安全衛生法 該当しない\*

## 危険・有害性の分類

分類の名称 0.1%以下の製品は、毒物劇物取締法で毒物に該当しないが、  
 取扱いには注意する。  
 危険性 通常状態では危険性はないが、可燃性物質と混合すると発火  
 する可能性がある。  
 有害性 眼、鼻、のど、気管支粘膜などを刺激して炎症を起こす。  
 吸入、経口摂取により頭痛、吐き気、めまい、血圧低下、知  
 覚障害などを生じる。重症の場合、意識不明、痙攣などを引  
 き起こす可能性がある。  
 環境影響 -----

## 応急措置

眼に入った場合 直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。直ちに医師の手当て  
 を受ける。  
 皮膚に付着した場合 付着部または接触部位を水または微温湯を流しながら洗浄  
 した後、石鹼でよく洗い落とす。皮膚に炎症を生じた時は医  
 師の手当てを受ける。  
 吸入した場合 新鮮な空気の場所に移し、充分うがいをさせる。安静保温に  
 努め、直ちに医師の手当てを受ける。呼吸困難又は呼吸が停  
 止しているときは直ちに人工呼吸を行う。また、嘔吐がある  
 場合は頭を横向きにする。  
 誤飲した場合 意識のある場合は多量の水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の  
 手当てを受ける。患者に意識がない場合には、口から何も与  
 えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

MSDS No. 415041-(1), -(2)

火災時の措置	消火方法	関係者以外は安全な場所に退去させ、火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。消火作業は風上から行い、状況に応じて呼吸保護具を着用する。	
	消火剤	粉末、炭酸ガス、乾燥砂	
漏洩時の措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火用器材を準備する。作業の際にはゴム手袋、防塵マスク、保護眼鏡等を着用し、皮膚に付着したり吸入したりしないようにし、風下で作業をしない。</li> <li>・ 飛散したものは、乾燥砂、土、不燃性吸着剤等に吸収させて、密閉できる空容器に出来るだけ回収し、残りは大量の水を用いて洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。</li> </ul>		
取り扱いおよび保管上の注意	取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高温物、スパークを避け、保管する。</li> <li>・ 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に接触しないように適切な保護具を着用する。</li> <li>・ 取り扱い場所には局所排気装置を設置する。使用後は容器を密栓する。</li> <li>・ 漏れ、あふれ、飛散しないようにする。</li> <li>・ 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの粗暴な扱いはしない。</li> </ul>	
	保管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。</li> <li>・ ボイラー等熱源付近や可燃性の近くに置かない。</li> <li>・ 容器は直射日光を避け、2-8℃で保存する。</li> </ul>	
暴露防止措置	管理濃度	-----	
	許容濃度	-----	
	設備対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋内作業場での使用の場合は発生源を密閉化、または局所排気装置を設置する。</li> <li>・ 取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明瞭に表示する。</li> </ul>	
	保護具	通常、保護衣、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用し、状況に応じて、送気マスク、空気呼吸器などを使用する。	
物理／化学的性質	外観等	液体	
	蒸気比重	-----	
	沸点	-----	
	蒸気圧	-----	
	融点	-----	
	比重	-----	
	溶解性	水に可溶	
危険性情報	安定性、反応性	直射日光に不安定。金属との接触により爆発性物質を生成する可能性がある。	
有害性情報	急性毒性：経口投与	ラット	L D 50 27mg/kg (NaN <sub>3</sub> )
	経皮投与	ウサギ	L D 50 20mg/kg (NaN <sub>3</sub> )
	慢性毒性	-----	
	変異原性	-----	

MSDS No. 415041-(1), -(2)

がん原性 -----  
刺激性 -----

---

環境影響情報 -----

---

廃棄上の注意 アジ化ナトリウムは水道管の銅、鉛などと反応して爆発する危険性があるので、本製品を排水管より処分するときは、大量の水と一緒に流す。または、廃棄物業者へ委託して処理する。

---

輸送上の注意 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。容器は直射日光を避け、2-8℃で保存し、輸送する。

---

適用法令 毒物及び劇物取締法：毒物（0.1%以下のため適用外）

---

備考 研究用試薬としてのみ使用すること。

---

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには注意して下さい。  
含有量、物理化学的性質の値は保証値ではなく、記載の内容は随時改訂されることがあります。